



2014年第6回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・福岡 大会要項

1. 名称

日本語表記	2014年第6回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・福岡
英語表記	2014 Special Olympics Nippon National Summer Games Fukuoka
略称(愛称)	スペシャルオリンピックス2014福岡
英語表記	Special Olympics 2014 Fukuoka

2. 開催期間

2014年11月1日(土)～3日(月・祝日)	3日間
1日(土)	開会式 / マリンメッセ福岡
2日(日)	競技予選(ディビジョニング) / 各競技会場
3日(月・祝)	競技決勝・表彰 / 各競技会場 閉会式 / 福岡県立スポーツ科学情報センター(アクション福岡)

3. 大会スローガン等

(1) スローガン

はじける はすむ わたしも わたしも…ふくおかから

はじける はすむ そのままのアスリートが競います。

小さな 小さな はじける はすむ そのままの姿です。

いつのまにか周りに小さな 小さな はじける はすむが生まれます。

そして 福岡の秋空一杯がはじけています。はずんでいます。

はじける はすむ アスリートに刺激され

いつのまにか次々に自然にはじけている はずんでいる自分を発見する福岡の大会をイメージしました。

(2) 大会ロゴマーク



【コンセプト】

「みんなが参加することで笑顔になれる大会」をコンセプトとしてデザイン化。

カラフルな4色を使用し、アスリート、コーチ、ボランティア等、それぞれが支え合い、重なり合って出来ていることで、この大会が成立することを表現。

また、「にわか面」をモチーフにすることで、福岡県において親しみのもてる大会として、認知、参加を促進できるようにしました。

4. 開催趣旨

- ① 全国各地で日常のスポーツプログラムに参加しているアスリートが、日頃のトレーニングの成果を十分に発揮できるような質の高い競技運営や快適な環境を準備します。
- ② 競技だけでなく、大会での様々なプログラムや交流会、宿舎での共同生活でのコーチや多くのボランティアとの触れ合いを通じて、アスリートが仲間との絆を深めながら、自立と社会性を高める機会とします。
- ③ 今大会を通じ、障害の有無に関わらず、互いの違いを理解し認め合うことで、多様な人々が共に育ち、共に生きるインクルージョン社会につながる機会をめざします。
- ④ 全都道府県よりアスリートが参加し、また、アジア地域の拠点である福岡の独自性を活かした大会をめざすと共に、福岡におけるスペシャルオリンピックスの認知と理解向上を図ります。
- ⑤ 2015年6月にアメリカ合衆国ロサンゼルスで開催される「スペシャルオリンピックス夏季世界大会」の選手選考会を兼ねます。
- ⑥ 主管地区であるスペシャルオリンピックス日本・福岡は、大会で得た有形無形のレガシー（遺産）を活かし、今後のSO活動の発展につなげます。

5. 運営方針

- * 参加するアスリート、コーチ、ボランティアが大会期間中を通じて、快適で健康のうちに過ごすことができるように努めます。
- * 各競技団体と協力し、スペシャルオリンピックススポーツルールに従って適正かつ公正な競技運営に努めます。
- * 参加するすべての人がそれぞれの場面で大会の主役だと感じるように配慮します。

6. 主催 / 主管 / 運営主体

主 催： 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
主 管： 特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・福岡
運営主体： 2014年第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡実行委員会

7. 大会役員

大会名誉会長	(公財) スペシャルオリンピックス日本名誉会長	細 川 佳代子
大会名誉副会長	(公財) スペシャルオリンピックス日本会長	三 井 嬉 子
大会会長	(公財) スペシャルオリンピックス日本理事長	有 森 裕 子
大会副会長	(公財) スペシャルオリンピックス日本副理事長	新 宅 正 明
大会副会長	(特活) スペシャルオリンピックス日本・福岡 理事長	松 尾 新 吾
顧 問	福岡県知事	小 川 洋
	福岡市長	高 島 宗一郎
	北九州市長	北 橋 健 治
	宗像市長	谷 井 博 美
	古賀市長	竹 下 司津男
	粕屋町長	因 清 範
実行委員長	(特活) スペシャルオリンピックス日本・福岡 副理事長	山 崎 広太郎

8. 実施競技・式典及び会場

水泳	福岡市立総合西市民プール 福岡市西区西の丘1-4-1
陸上競技	東平尾公園博多の森陸上競技場 福岡市博多区東平尾公園2-1-2
バドミントン	グローバルアリーナ 体育館 宗像市吉留46-1
バスケットボール	粕屋町総合体育館（かすやドーム） 糟屋郡粕屋町駕与丁3-2-1
ボウリング	博多スターレーン 福岡市博多区博多駅東1-18-33
サッカー	グローバルアリーナ 天然芝フィールド 宗像市吉留46-1
ゴルフ	若松ゴルフ倶楽部 北九州市若松区大字乙丸1560番地
体操競技	福岡県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡） サブアリーナ 福岡市博多区東平尾公園2-1-4
卓球	北九州市立総合体育館 北九州市八幡東区八王寺町4-1
テニス	東平尾公園博多の森テニス競技場 福岡市博多区東平尾公園2-1-2
バレーボール	福岡県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）メインアリーナ 福岡市博多区東平尾公園2-1-4
フライングディスク	グローバルアリーナ トラック&フィールド 宗像市吉留46-1

【エキシビション】

馬術	福岡県馬術競技場 古賀市筵内564番地
----	------------------------

【式典】

開会式	マリンメッセ福岡 福岡市博多区沖浜町7-1
閉会式	福岡県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）メインアリーナ 福岡市博多区東平尾公園2-1-4

9. 競技以外のイベント（予定）

- ・採火式／分火式：太宰府天満宮（2014年3月21日）
- ・ユニファイドレクリエーション（ふうせんバレーボール等）
- ・ヤングアスリート
- ・ヘルシー・アスリート®・プログラム（健康増進プログラム）

10. 選手団宿舎

グローバルアリーナ	宗像市吉留46-1
福岡県立社会教育総合センター	糟屋郡篠栗町大字金出3350-2
福岡県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）	福岡市博多区東平尾公園2-1-4
北九州市立玄海青年の家	北九州市若松区大字竹並126-2

11. 参加予定人員 16,350名

参加地区・選手団	47都道府県（地区・設立準備委員会） アスリート 1,000名 / 役員・コーチ 500名 海外招待（SO韓国、SOアジアパシフィック地域等より）
大会役員・審判等	約800名
ボランティア	約4,000名（3日間延べ数）
ファミリー・応援	約10,000名
計	約16,350名

* 海外選手団（アジア地域より）参加予定

12. 参加資格

(1) アスリート

- ① 各地区組織にアスリートとして登録し、2014年11月1日現在で8歳以上であること。
- ② 2013年1月1日から2014年8月15日の期間内にスペシャルオリンピックス日本の地区組織または設立準備委員会が提供しているスポーツトレーニングプログラム（大会に参加する競技のプログラム）に、8週間以上にわたり8回以上参加した経験がある者。但し、合宿形式でのトレーニングプログラムの場合は、2時間程度のトレーニングプログラムを1回と数えることとする。
- ③ 大会期間中、選手団のみで行動できる体力・情緒の安定・自立度・社会適応力があること。なお、そこには競技の能力レベルは含まないものとする。
- ④ 大会参加にふさわしい身体状況にあること。
- ⑤ 大会への参加に関して、アスリート本人の同意が得られていること。但し、アスリートが20歳未満の場合は、保護者の同意も必要である。
- ⑥ 上記の条件を満たし、各地区組織または設立準備委員会の選手団選考委員会にて参加が適格であると認められた者。

(2) コーチ

- ① 当該スポーツ競技のスペシャルオリンピックス日本認定コーチであること。
（2014年9月30日現在で認定コーチの資格要件を満たし、各地区組織または設立準備委員会
が認めた者も可）
- ② 大会当日までの過去2年以内に地区組織または設立準備委員会が提供する当該のスポーツトレーニングプログラムに参加していること。
- ③ 大会参加にふさわしい身体状況にあること。
- ④ 上記の条件を満たし、各地区組織または設立準備委員会の選手団選考委員会にて参加が適格であると認められた者。

(3) 団長・副団長及び追加スタッフ

- ① スペシャルオリンピックス日本の地区組織または設立準備委員会に登録していること。

- ② スペシャルオリンピックス日本の提供する、「ゼネラルオリエンテーション」及び、「アスリート理解」を受講していること。
- ③ 大会当日までの過去2年以内に地区組織または設立準備委員会が提供するスポーツトレーニングプログラムへ参加していること。
- ④ 大会参加にふさわしい身体状況にあること。
- ⑤ 上記の条件を満たし、各地区組織または設立準備委員会の選手団選考委員会にて参加が適格であると認められた者。

13. 選手団構成基準

- ① 選手団は、団長と副団長を派遣することができる。但し、アスリートが5名以下の場合、団長のみとする。
- ② 団長、副団長を除く選手団の構成は、原則として各競技アスリート(ユニファイドスポーツ®アスリートを含む)・パートナー4名に対しコーチ1名とする。但し、アスリートの男女構成でコーチ数を変更する場合がある。
- ③ 選手団が必要と判断した場合は、スタッフを追加して選手団を構成することができる。追加できるスタッフの数については、全アスリート数(パートナーは含まない)の20%の範囲内とする。そのスタッフは、追加スタッフと呼ばれ、費用が別途必要となる。各競技のヘッドコーチにはなることはできないが、その他は選手団の公式メンバーとして同様の待遇を受けることができる。

14. 競技規則

本大会は、公式スペシャルオリンピックス夏季スポーツルール(2012年6月改訂版)、及び各競技の国際競技団体競技規則最新版、国内競技団体競技規則最新版に沿って行う。但し、各競技のルール委員会で、本大会に関するルールを定めた場合は、それが優先する。

15. 選手団クォータ(参加枠)

本大会では、各地区選手団に参加人数枠を設ける。別添の資料「大会クォータ(参加枠)の申請について」を参照すること。

16. エントリー

アスリートのエントリーについては、1人1競技とする。エントリーが可能な種目数や詳細については、各競技要項(後日配布)を参照すること。また、エントリーされたアスリート及びコーチ(団長・副団長・追加スタッフ)の参加についての最終判断は、大会実行委員会が行う。

【エントリーの流れ】

2013年11月下旬	大会要項・競技要項・大会クォータ申請用紙をSONより各地区へ発送
2014年1月	選手団クォータ申請用紙をSONへ返送
	SONにて大会クォータ調整会議/クォータ通知 (SON→地区)
4月	選手団クォータ決定報告(地区→SON)
5月	エントリーフォーム配布
<u>8月15日</u>	大会参加者名簿を大会事務局へ返送・エントリー <u>締切</u>

※ 8月15日のエントリー締切以降にケガ、病気等のやむをえない事情によりエントリー変更の必要が生じた場合は、既にエントリーされているアスリートと同性かつ同競技へのエントリー変更に限る。(コーチを含む。)

17. 地区負担金

アスリート、コーチ、選手団役員（団長等）、追加スタッフ 1人あたり 10,000円
 ＊各地区から、大会開催地の最寄り空港・駅、開会式会場までの輸送手配・交通費は各地区負担とする。
 ＊追加スタッフは、地区負担金とは別途費用（実費経費）が必要となる場合がある。

18. 現地説明会

期日：2014年7月中旬（1泊2日） ＊詳細は別途案内

19. 問い合わせ先

【競技要項・選手団クォータに関するお問い合わせ】

E-メールまたはFAXにてお問い合わせください。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。
 スペシャルオリンピックス日本事務局 担当：園部、中川
 E-mail: son_program@son.or.jp / FAX 番号: 03-3436-3666

【その他、大会全般に関するお問い合わせ】

下記実行委員会事務局あてに、E-MAIL またはFAXにてお願いします。
 電話でのお問い合わせはご遠慮いただき、文書でお問い合わせ頂きますようご協力をお願いします。

＊スペシャルオリンピックス2014福岡実行委員会事務局
 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1丁目1-1 サンセルコ別館8階
 (FAX) 092-406-9341 メールアドレス: entry_2014fk@son.or.jp
 (電話) 092-406-9340

<主な予定>

2013年

11月	8日(金)	大会記者発表会(大会概要等)
11月	下旬	全国地区組織、設立準備委員会へ要項書類等発送(SON→地区) ＊大会要項、競技要項、大会クォータ(選手団枠)申請書類

2014年

1月	27日(月)	大会クォータ申請受付締切(地区→SON)
2月	中旬	大会クォータ調整会議・クォータ通知(SON→地区) ＊各地区組織・設立準備委員会内での大会クォータ最終調整
3月	21日(金・祝)	採火式・分火式(太宰府天満宮)
4月	上旬	大会クォータ決定報告(地区→SON)
5月	中旬	選手団エントリーフォーム送付(実行委員会→地区)
7月中旬		現地説明会(選手団代表対象:会場視察、競技・運営等説明会)
8月	15日	選手団エントリー受付締切
11月	1日(土)～ 3日(月・祝)	「2014年第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡」 開催